

ビルングシステム株式会社

2013年12月期 決算説明資料

2014年2月28日
代表取締役社長 江田敏彦

1 会社概要

■ 商号

ビルングシステム株式会社
(Billing System Corporation)

■ 設立

2000年6月

■ 資本金

1,198百万円
(2013年12月末日現在)

■ 事業内容

自社決済プラットフォームを基盤とした
決済業務支援サービスの提供

■ 免許

貸金業務取扱主任者

■ 常勤役員

代表取締役社長兼CEO	江田 敏彦
取締役CMO兼CTO兼システム本部長	芳賀 正彦
取締役CFO兼管理本部長	住原 智彦
常勤監査役（社外）	鈴木 誠二郎

■ 監査法人

有限責任監査法人トーマツ

■ 売上推移

(百万円)

2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
989	1,249	1,369	1,338	1,327

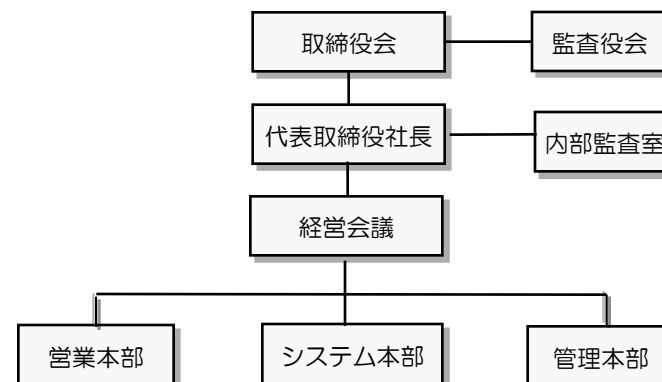
■ 主要株主の状況(上位10名)

(2013年12月31日現在)

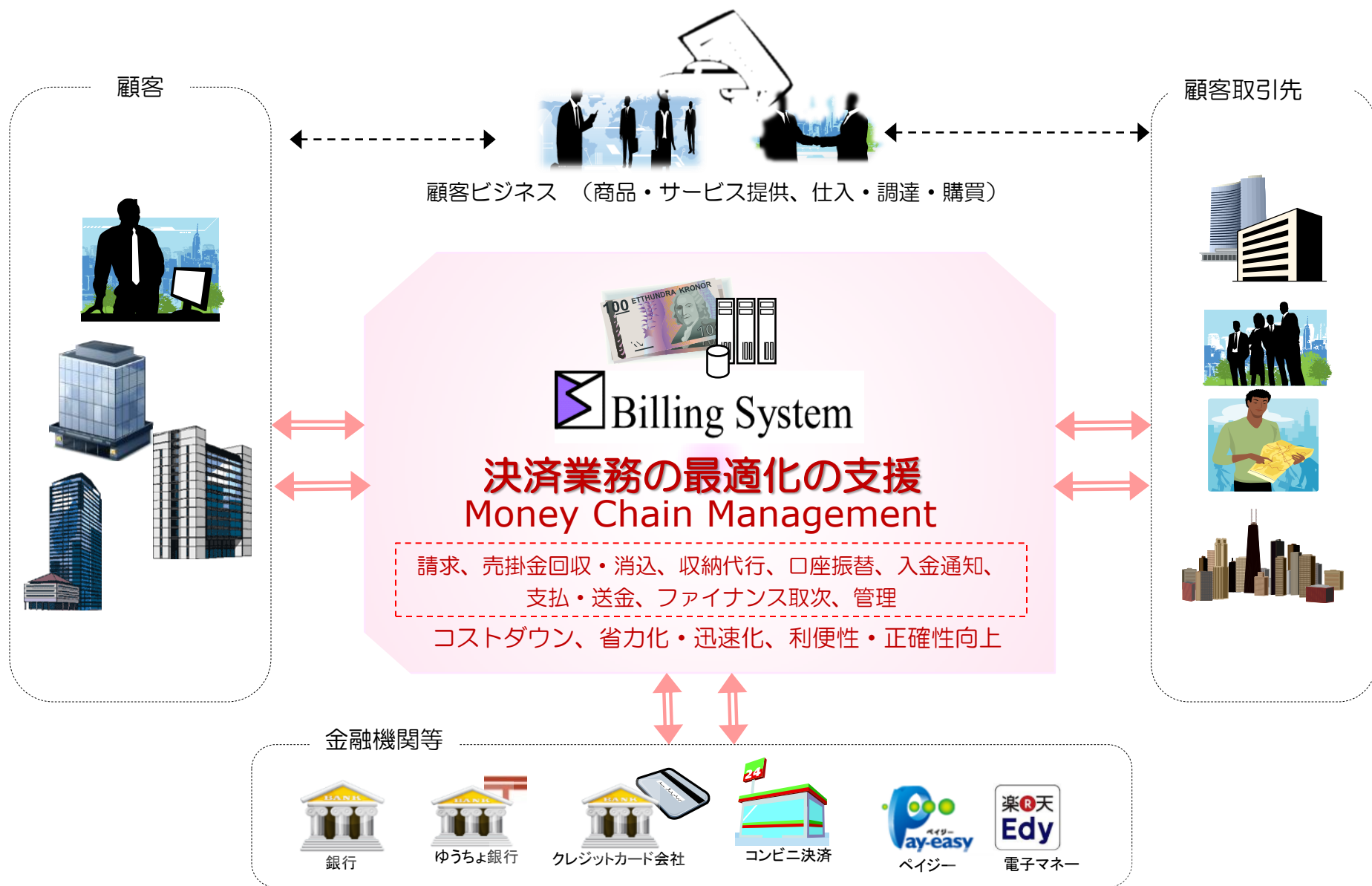
(自己株式47,500株を除いたベース)

	株主名	所有株数	持株比率(%)
1	EDAM株式会社	149,700	9.6%
2	14700バンクオブイーストエイジアノミニーズリミテッド	142,100	9.2%
3	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	110,000	7.1%
4	日本証券金融株式会社	60,800	3.9%
5	住原 智彦	50,700	3.3%
6	ニューフロンティアパートナーズ株式会社	50,600	3.3%
7	株式会社大塚商会	50,000	3.2%
8	株式会社SBI証券	47,100	3.0%
9	MSCO CUSTOMER SECURITIES	47,008	3.0%
10	柿久保 譲	41,500	2.7%

■ 組織図



2 事業概要



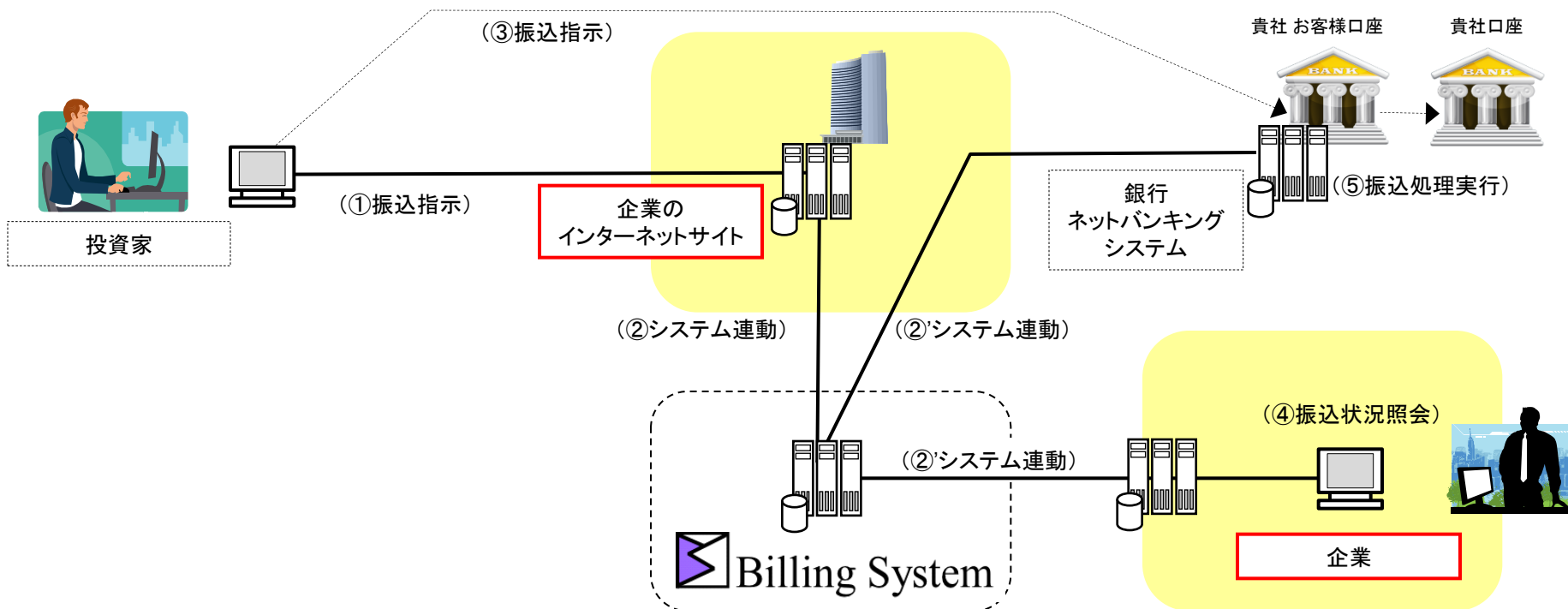
2.2 主な商品・サービス一覧

サービスカテゴリー		説明	主なお取引先	弊社サービス提携先	売上区分
収納代行・ 収納支援	<u>基本サービス</u>	クレジットカード、銀行振込、コンビニ決済、ペイジー、口座振替など、多様な手段で商品代金を代行収納。	一般事業法人（小売、通販、物流、ネットショップ）、公共等	クレジットカード会社、銀行等	収納代行
	<u>クイック入金</u>	銀行が提供するネットバンキングシステムと連動し、銀行振込を受付。振込入金状況をリアルタイムで照会。	証券、FX業界	銀行	クイック入金
	<u>払込票決済</u>	顧客に払込票を送付し各種料金・代金を収納。請求消込処理を行い結果を還元。	一般事業法人、保険会社等	コンビニ、ペイジー（※）等	収納代行
	<u>デ일리ー口振</u>	銀行における口座引落日を自由に設定。顧客の利便性を向上。	一般事業法人、保険会社等金融機関	銀行	その他
	<u>即時口振</u>	（継続的・反復的な）銀行口座振替を、必要の都度、リアルタイムで実行。2013年サービス開始予定。	一般事業法人、保険会社等金融機関	銀行	その他
	特定業界向け				
	<u>e-JIBAI</u>	保険代理店が受領した自賠責保険料を収納。ペイジー経由で決済。	損保各社	銀行、信金、ペイジー（※）等	収納代行
支払・ 送金支援	<u>即時振込</u>	当日振込を低コストで実行。	一般事業法人	銀行	送金代行
	<u>総合振込・給与振込</u>	総振・給振を低コストで実行。	一般事業法人	銀行	
	<u>公共料金支払代行</u>	水道料金等公共料金の支払・管理業務を一括受託。不動産管理会社等、複数の管理物件に係る公共料金等の請求をとりまとめ・データ化の上、一括代行納付。	マンション管理会社等	銀行	その他
<u>ファイナンス取次</u>		資金繰り支援（ファイナンス）に関する取次。貴社の決済情報をファイナンス会社に取次ぎ、融資等円滑化。	一般事業法人	ファイナンス会社	ファイナンス
<u>スマートフォン決済</u>		スマートフォンのQRコード読取機能を活用した新決済ソリューション。2013年試行、2014年本番開始。	流通・小売、生損保、公共、物流他	MPayMe社	収納代行

（※）マルチペイメントネットワーク

2.3 サービス例：クイック入金

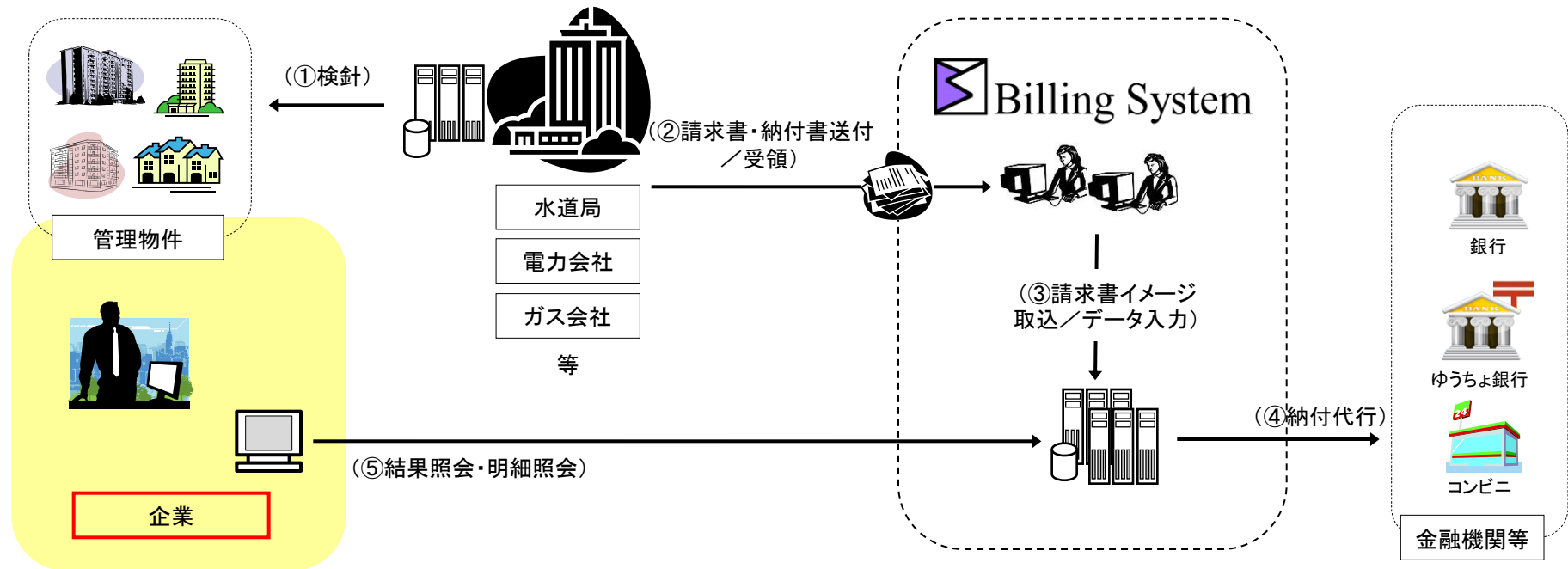
ニーズ・課題	投資家からの銀行振込（入金）を、リアルタイムで知りたい。
ソリューション	当社システムを経由して、企業のインターネットサイトと銀行のインターネット・バンキングシステムを連動させる事によって、投資家からの銀行振込をリアルタイムで把握することを可能にする。



補足	・利用可能銀行はメガバンク、ゆうちょ銀行、ネット銀行、その他 地銀等の15行。 ・本サービスには、「消込サービス」「名義人照合」「決済状況照会」等のオプション機能あり。 ・PCを用いた振込以外に、モバイル機器を用いた振込も対象（一部銀行に制約あり）。
----	---

2.4 サービス例：公共料金等支払代行

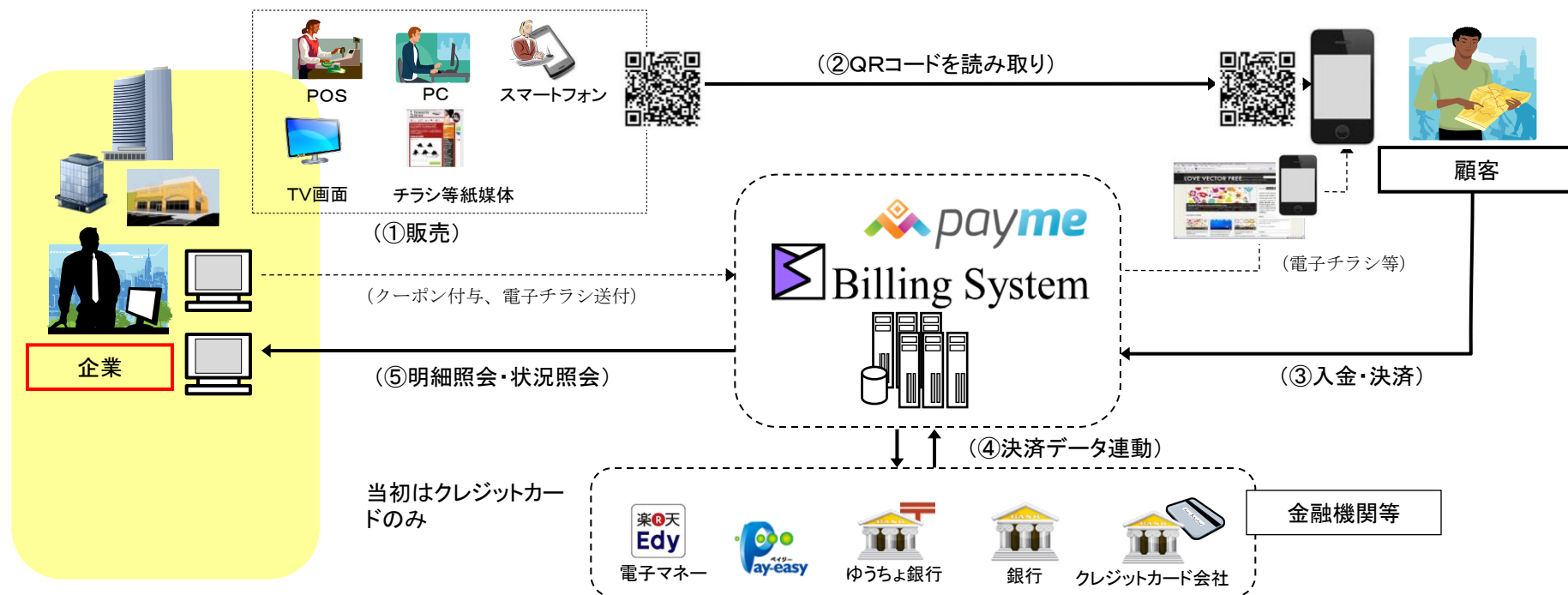
企業 ニーズ・課題	マンション、アパート等の共用スペース、空室等の公共料金等支払（水道、電気、ガス他）に関わる煩雑な事務を合理化。
ソリューション	各種公共料金等に関わる納付書をお預かりし、各機関に対する支払業務全般を一括で代行。



補足	・照会機能では、①スキャナーを用いて取り込んだ請求書現物のイメージデータ、及び②請求書を基に入力された支払明細データ（含、支払結果）の大きく分けて2種類のデータを参照可能。 ・公共料金等の請求書について、①あらかじめ送付先を当社とし、直接当社が請求書を受け取る方式、または、②企業から転送してもらう方式の2種類あり。
----	--

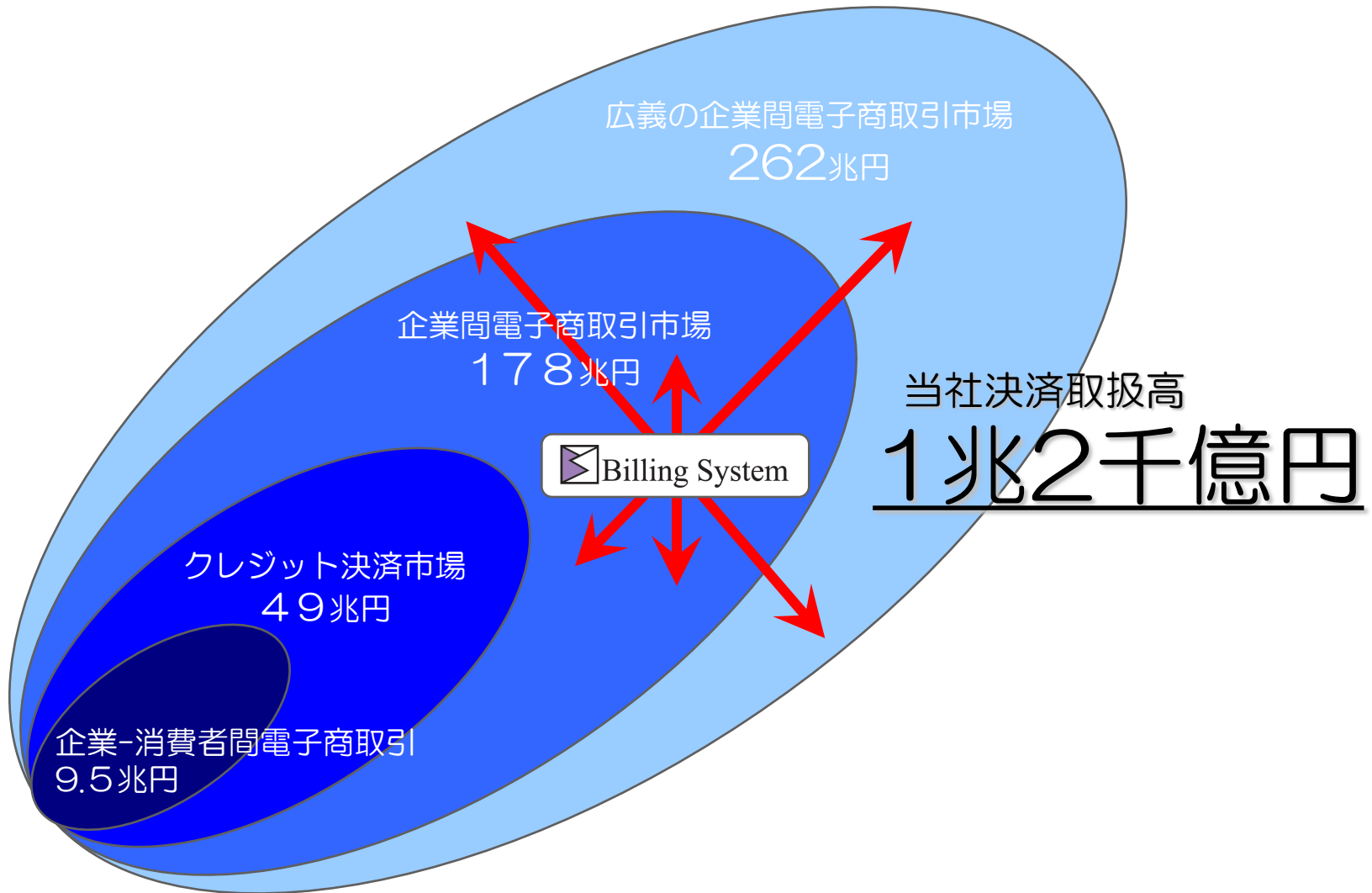
2.5 新規サービス：スマートフォン決済「ZNAP」

企業のニーズ・課題	店頭、POSレジ、ネットショップ／ECサイト、TV画面、チラシ、ポスター、請求書等で汎用的に使える簡便な決済ツールを導入したい。また、単純な決済だけでなく、マーケティング／販促ツールとしても活用したい。
ソリューション	スマートフォンを用いてQRコードを読み取り、決済手続きを行う。QRコードは、POSレジ、PC画面、TV画面、スマートフォン画面、チラシ／ポスタ／雑誌／請求書／払込票等、いずれの媒体上の表示にも対応します。また、1 to 1 プライシング、クーポン発行・使用、キャンペーン広告の発行等にも対応。



補足

- 国内では2013年中にパイロットユーザによる試行本番開始。2014年より本格展開予定。
- スマートフォンソフトの提供、及び関連するシステムセンターの運営等はMPayMe社が実施。当社は、金融機関との決済処理、及び企業への決済情報の還元等を実施。
- 1 to 1 プライシング、クーポン発行、電子チラシ発行等のマーケティング機能は順次リリース予定。



出所：経済産業省：「平成24年度電子商取引に関する市場調査」等から作成

3 2013年12月期 決算概要

売上高

1,326百万円 （前期比 ▲0.9%）

- 前期比12百万円減少。主因は、ファイナンスで110百万円の減少によるもの。
- 決済事業について、収納代行は60百万円、クイック入金は32百万円増加。

営業利益

109百万円 （前期は△95百万円）

- クイック入金（業務受託）が43百万円増加。
- 販売管理費が241百万円減少（2012年は貸倒引当193百万円計上）。

当期純利益

36百万円 （前期比は△189百万円）

- 営業利益との差額72百万円の主な内訳
 - 投資有価証券評価損50百万円、ソフトウェア等の減損10百万円、法人税等10百万円。

2013年7月 株式分割

6月30日を基準日、7月1日を効力発生日として、1株につき100株の割合をもって分割を実施。

2013年7月 スマートフォン決済に係る資本業務提携

QRコードを介した決済ソリューション「Z N A P」を提供するMPayMe Ltd(本社：香港)と資本業務提携を行い、2百万米ドルを出資。

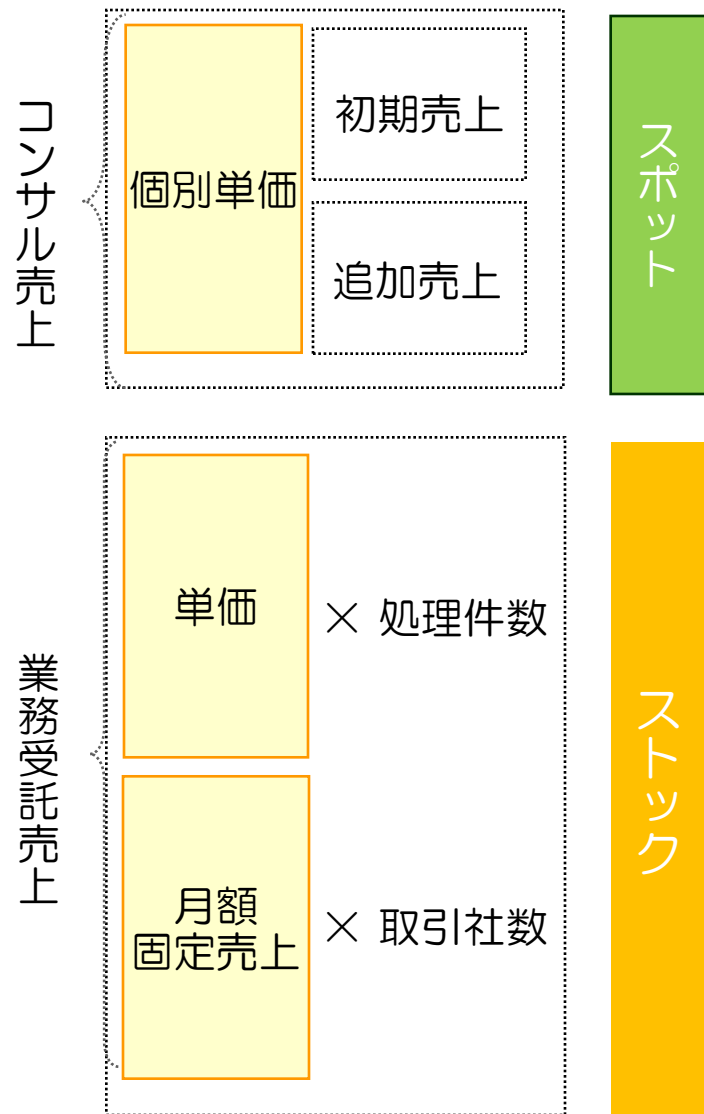
2013年11月 第二センターの構築

年初よりバックアップセンターの構築を行い、11月より運用開始。

単位：千円

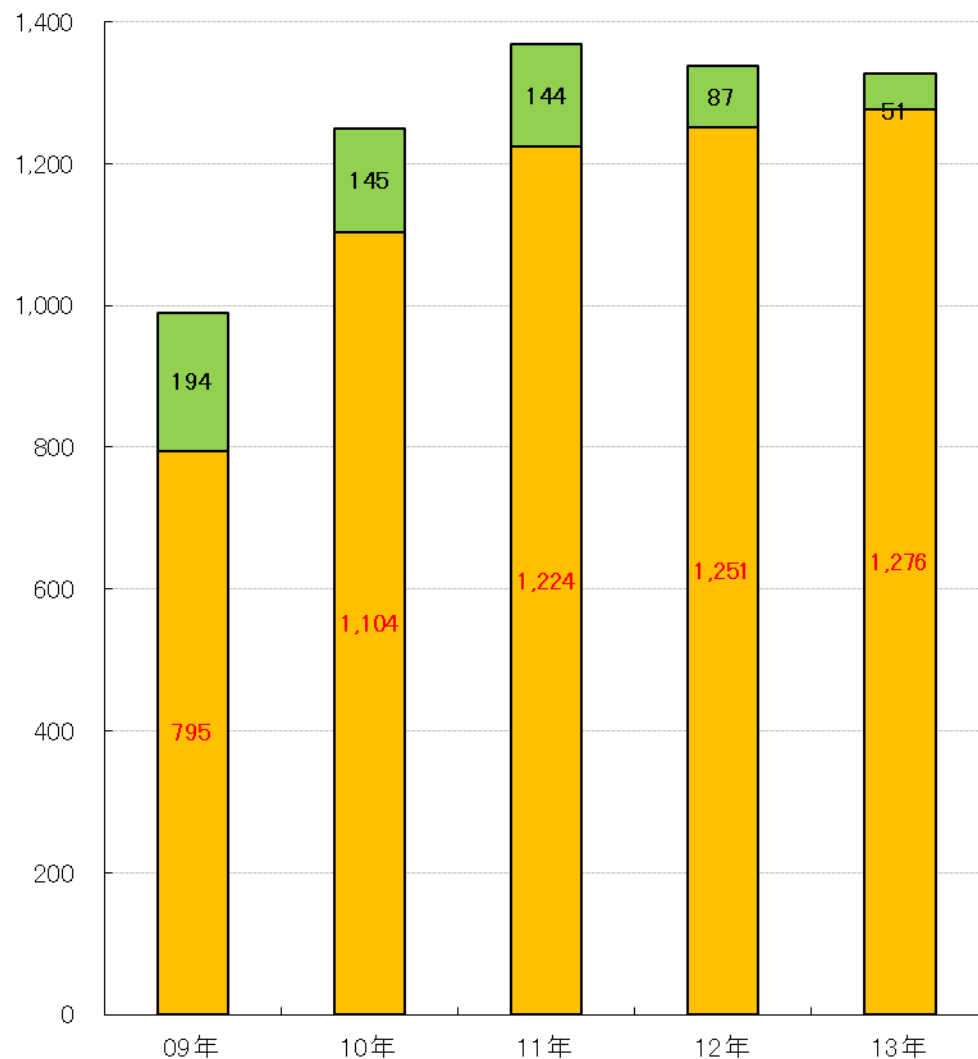
	2012年12月期		2013年12月			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	期初計画比
売上高	1,338,255	100.0%	1,326,829	100.0%	-0.9%	-0.3%
売上総利益	491,019	36.7%	454,109	34.2%	-7.5%	-1.5%
営業利益	-95,187	-7.1%	109,072	8.2%	-	78.4%
経常利益	-91,336	-6.8%	110,089	8.3%	-	82.7%
当期純利益	-189,927	-14.2%	36,974	2.8%	-	20.2%
EPS	-126円38銭	-	24円36銭	-	-	-

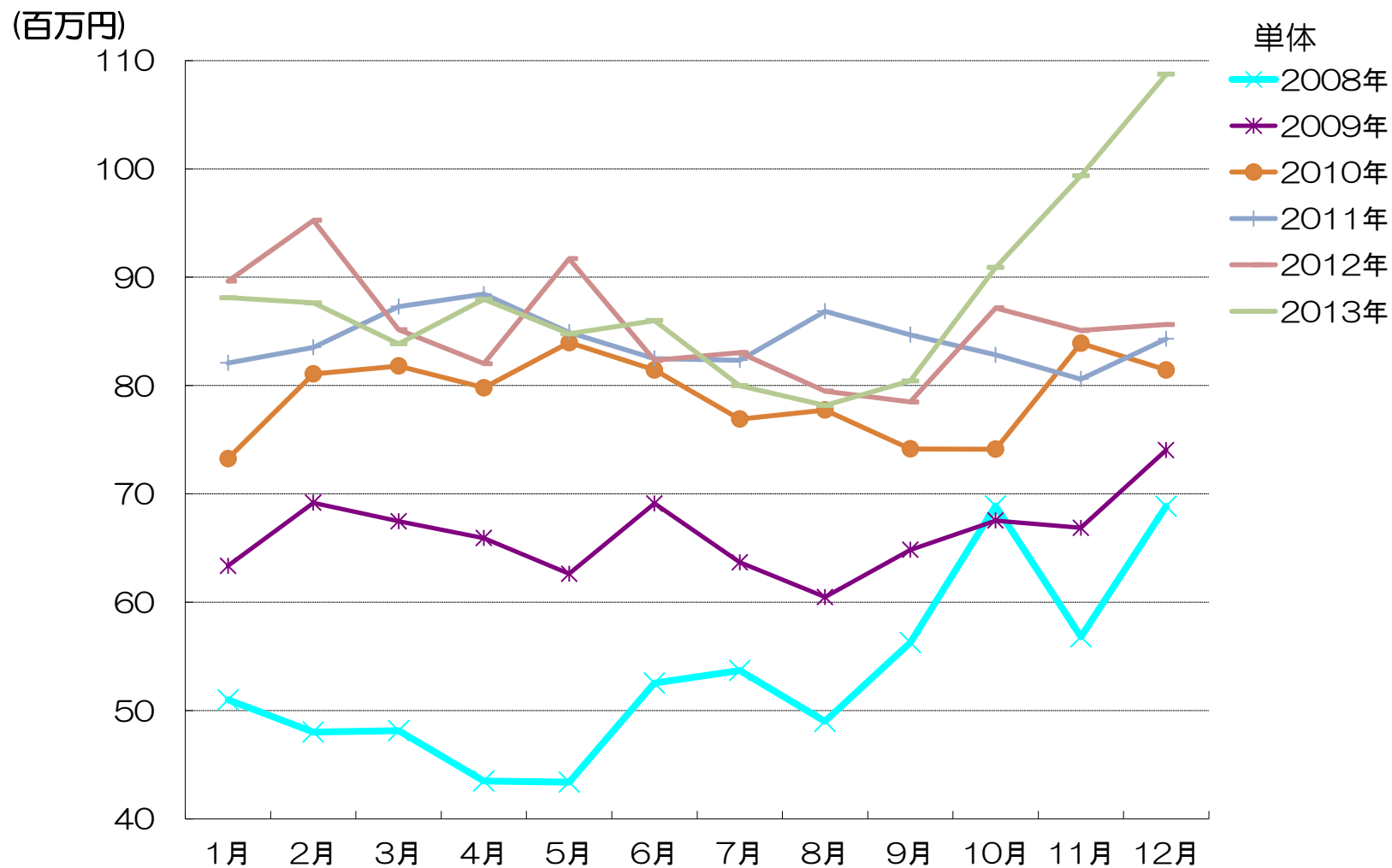
業務受託（ストック）積上が基本



2009年は単体、以後連結

売上実績推移（百万円）





3.6 サービス別売上推移

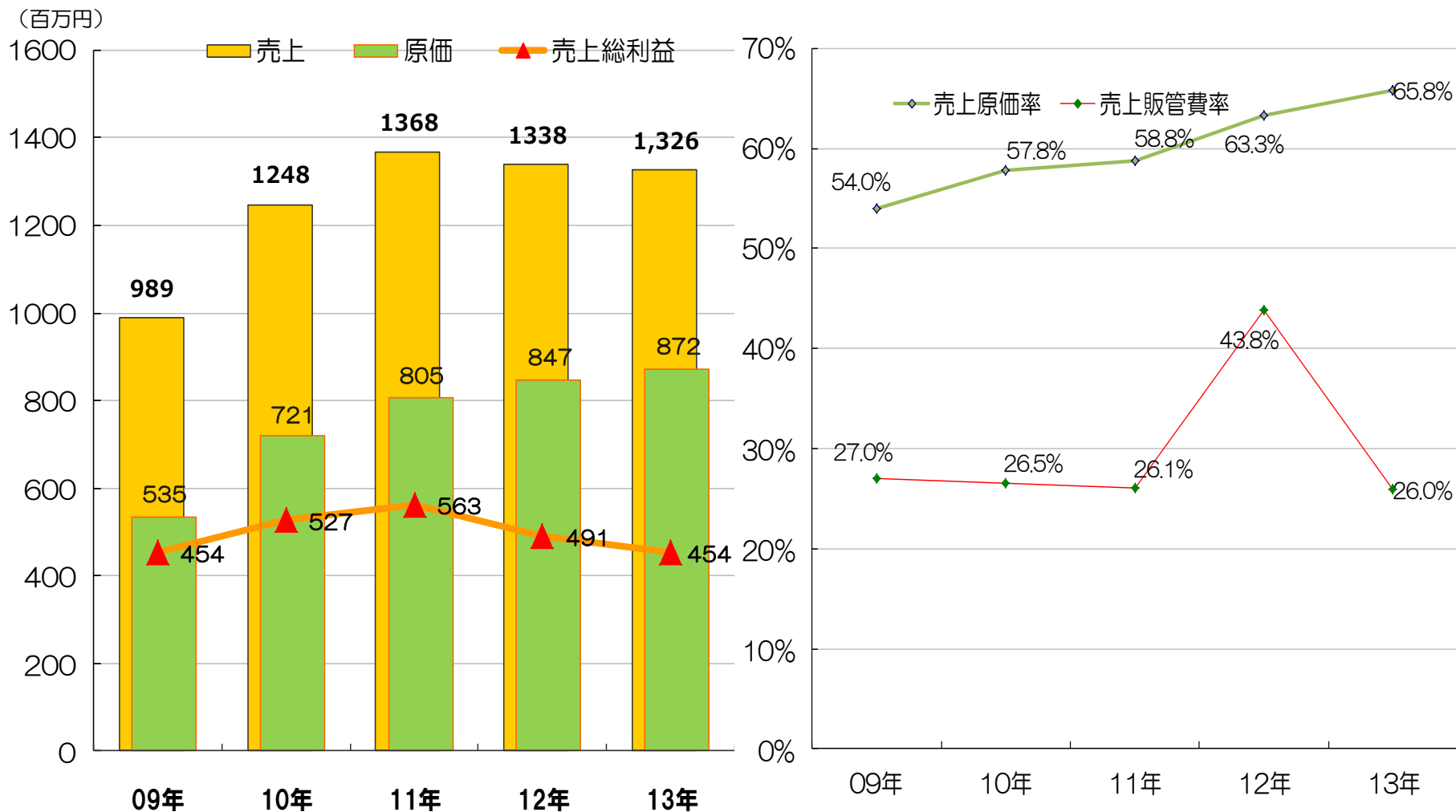
単位：百万円

2009年は単体、以後連結

		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
クイック入金	業務受託	226	242	224	229	272
	コンサル・スポット	59	30	29	40	29
	合計	285	272	253	269	301
代金回収・収納代行	業務受託	450	732	810	834	884
	コンサル・スポット	80	13	18	10	19
	合計	531	745	828	844	904
送金代行	業務受託	84	70	66	63	78
	コンサル・スポット	1	2	1	1	0
	合計	86	72	67	64	78
ファイナンス他	業務受託	30	42	91	87	11
	コンサル・スポット	53	45	87	34	0
	合計	82	87	177	121	11
その他	業務受託	4	18	33	38	31
	コンサル・スポット	1	55	9	2	3
	合計	5	73	43	40	33
合計	業務受託	795	1,104	1,224	1,251	1,276
	コンサル・スポット	194	145	144	87	51
	合計	989	1,249	1,369	1,338	1,327

3.7 収益構造

収納代行の増加に伴い原価率増加、また12年度は貸倒引当金の計上等の特殊要因もあり、販管比率も増加したが、13年は11年と略同じ水準に戻る。



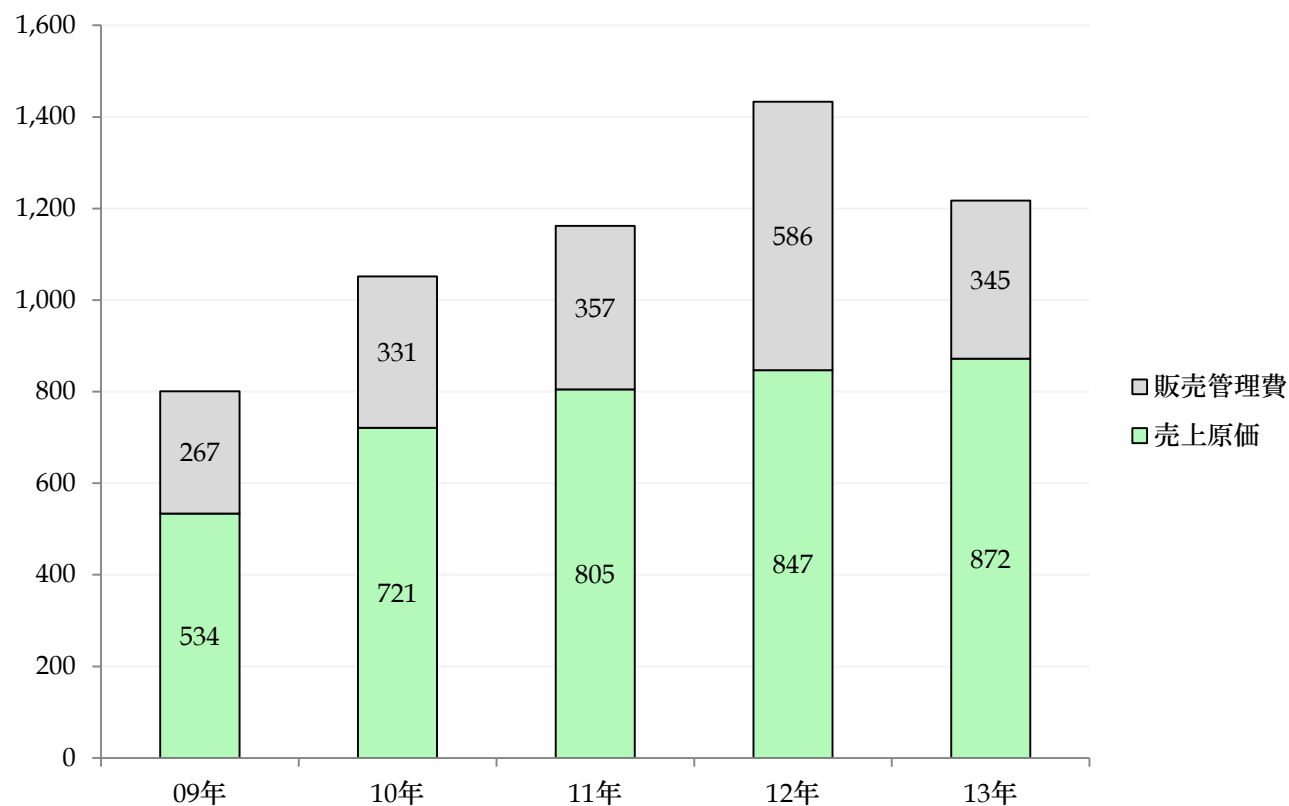
2009年は単体、以後連結

3.8 コスト構造

2009年は単体、以後連結

単位：百万円

	09年	10年	11年	12年	13年
売上原価	534	721	805	847	872
販売管理費	267	331	357	586	345

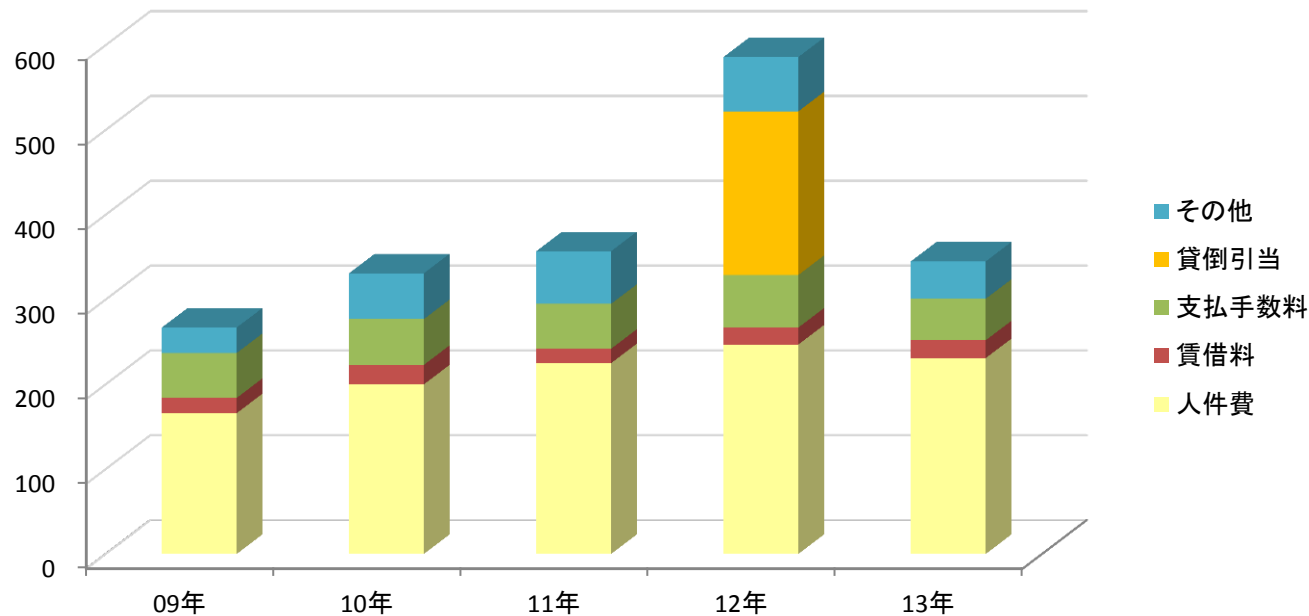


販売管理費実績推移（百万円）

2009年は単体、以後連結

	09年	10年	11年	12年	13年
人件費	166	200	225	247	234
賃借料	18	23	17	20	21
支払手数料	53	54	53	62	47
貸倒引当				193	△ 3
その他	30	54	62	64	45
合計	267	331	357	586	345

役員報酬減額

派遣費6百万円減、
監査報酬5百万円減、ファイナンス関連消耗品8百万円減
求人費5百万円減
顧問費3百万円減

単位：千円

	2012年12月期		2013年12月期		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
流動資産	4,971,569	96.6%	5,863,599	94.9%	17.9%
固定資産	173,191	3.4%	316,131	5.1%	82.5%
資産合計	5,144,761	100.0%	6,179,730	100.0%	20.1%
流動負債	3,635,041	70.7%	4,580,153	74.1%	26.0%
固定負債	116,113	2.3%	67,766	1.1%	-41.6%
負債合計	3,751,154	72.9%	4,647,920	75.2%	23.9%
純資産合計	1,393,606	27.1%	1,531,810	24.8%	9.9%
負債純資産合計	5,144,761	100.0%	6,179,730	100.0%	20.1%

単位：千円

	2012年12月期	2013年12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,468,543	1,165,830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 218,196	169,240
フリーキャッシュ・フロー	1,250,347	1,335,070
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 494,689	37,403
現金及び現金同等物の増減額	755,657	1,372,473
現金及び現金同等物の期首残高	3,348,346	4,104,003
現金及び現金同等物の期末残高	4,104,003	5,476,476

増加要因として
 預り金の増加933,663千円
 投資有価証券評価損50,000千円
 税前純利益49,991千円
 減少要因として
 貸し倒れ引当金の減少171,984千円

増加要因として
 定期預金の払戻500,000千円
 減少要因として
 投資有価証券取得201,060千円
 定期預金の預入100,000千円

増加要因として
 ストックオプション行使89,400千円
 減少要因として
 長期借入金の返済51,600千円

4 2014年12月期計画

■ 2014年12月期の連結業績見込み

通期売上高1,419百万円、営業利益53百万円、経常利益51百万円、
当期純利益47百万円、期末配当7円50銭

■ 主要施策

- ✓ モバイル決済の展開
 - スマートフォン決済の本格展開を図るべく、「ZNAP」と親和性のある業態に対して売り込みを強化し、モデルケース構築を推進
- ✓ 収納代行業務の強化
 - 当社の基幹ビジネスと認識する収納代行業務の掘りおこし
追加機能としてのスマートフォンAPの導入を促進
- ✓ 送金代行業の推進
 - アライアンス強化により営業網を拡販
- ✓ 業務の効率化
 - 社内のシステム化による業務の効率化を推進
- ✓ システムの安定運用
 - 顧客情報の保護、データの流出防止、等の情報セキュリティ体制の一層の強化
バックアップ体制整備と安定したシステム運用体制の確立と維持

連結

単位：千円

	2013年12月期		2014年12月期		
	実績	前期比	第2四半期計画	通期計画	前期比
売上高	1,326,829	-0.9%	720,888	1,419,713	7.0%
売上総利益	454,109	-7.5%	209,336	421,241	-7.2%
営業利益	109,072	-	24,955	53,245	-51.2%
経常利益	110,089	-	24,097	51,681	-53.1%
当期純利益	36,974	-	21,838	47,698	29.0%

POINTS

- ・収納代行で101百万円の売上増、送金代行についても12百万円増加を見込む。
- ・証券会社、為替会社で利用されているクイック入金は、相場も落ち着くという前提で、前年比23百万円減少見込み。
- ・モバイル決済は、人員増等のコスト先行、本格売上は2015年以降の見込み。

設備投資

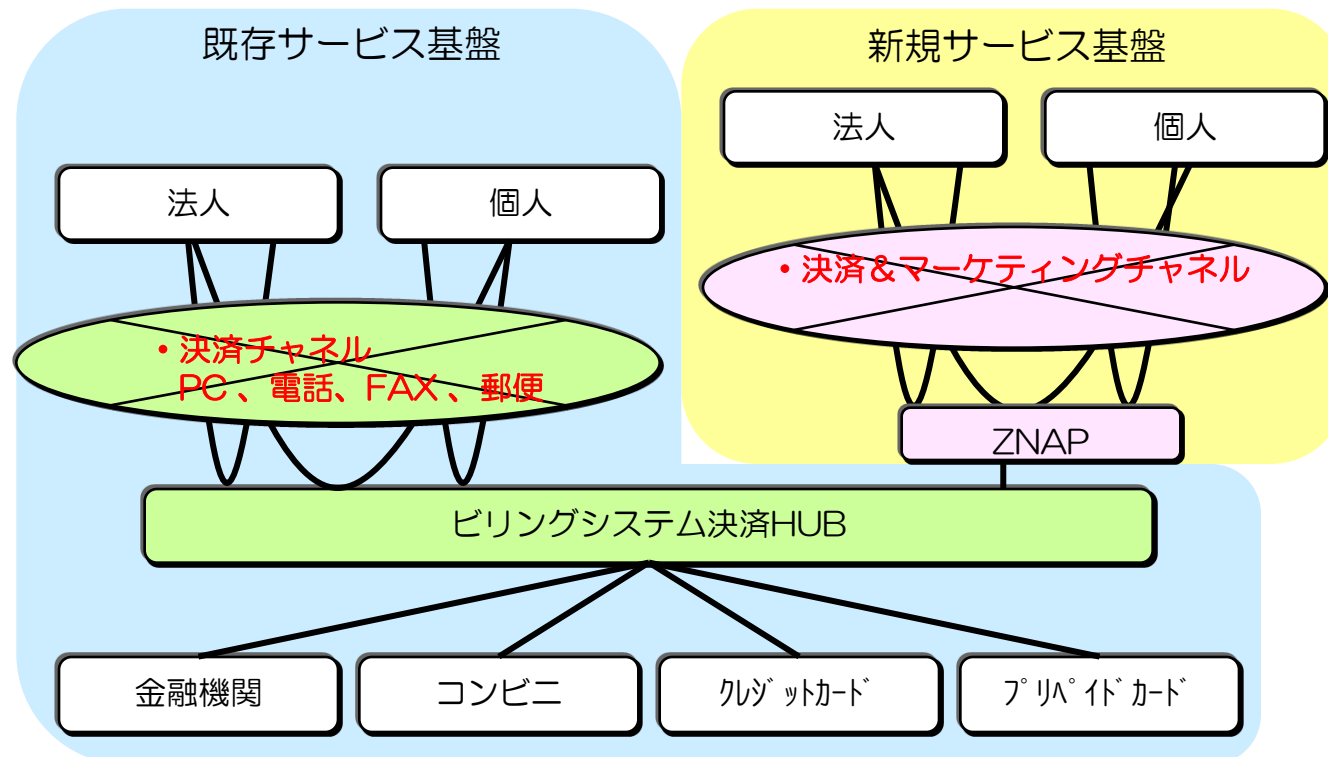
ハード	1 9 百万円	(第二センターのサーバ、他サーバ買替え)
ソフト	1 4 百万円	(収納代行関連システム、社内管理システム)

採用

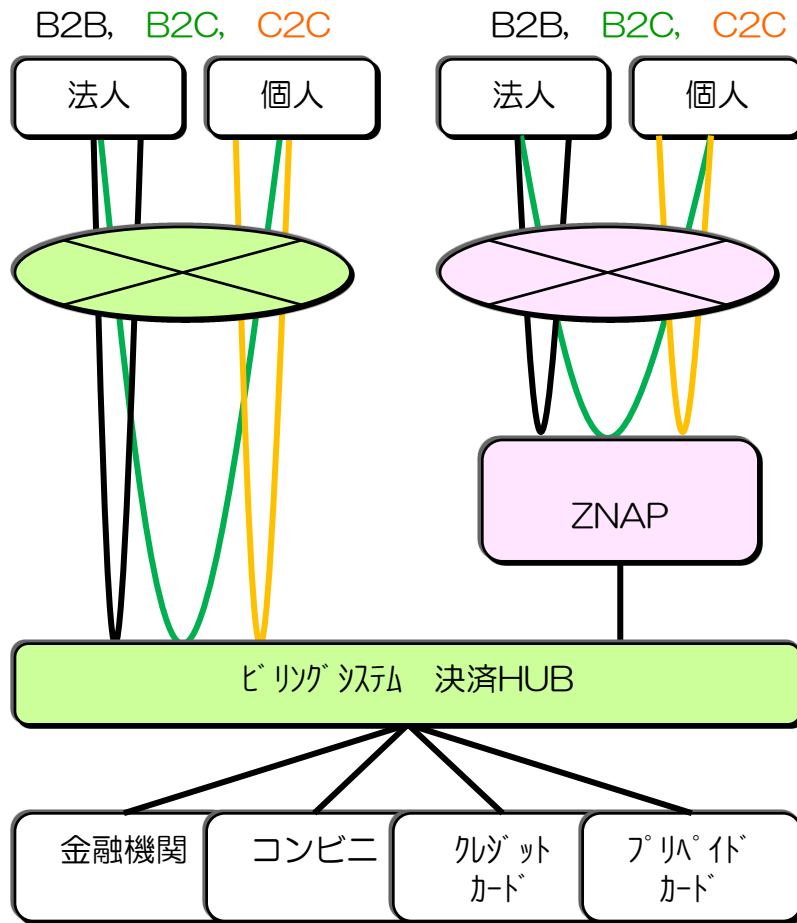
営業推進関係	+ 4 名
システム関係	+ 1 名
業務関係	+ 1 名

5 今後の成長戦略

1. 既存事業の再確認と基盤機能の再構築
既存サービス機能の見直しと整備
顧客サービス内容を再確認し、サービス機能の再構築を図る
(クイック入金、収納代行、振込代行、公共料金支払代行、ファイナンス取次)
2. 新規事業基盤の構築と事業の確立
既存の決済基盤にスマートフォンチャネルを加えた決済サービスの確立と展開を図り、併せて、スマートフォンチャネルを利用したマーケティングサービスの確立と展開を図る



既存の決済基盤にスマートフォンチャネルを加えた決済、及び、マーケティングサービスを展開



① 決済基盤の確立

- クレジットカード、及び、Visa/Masterのデビットは、既に利用可能
- 銀行/郵貯等の金融機関の口座振替サービス、及び各種プリペイドマネーとの連携推進

② B2Cマーケットへの決済サービスの展開推進

- カードホルダー、及び加盟店への展開をクレジットカード会社と共同推進
- 各社が収納代行契約をしている加盟店宛のスマートフォン決済を収納代行会社と共同推進

③ Net/TV/カタログ通販、雑誌/広告からの直販、店頭、宅配、等への展開

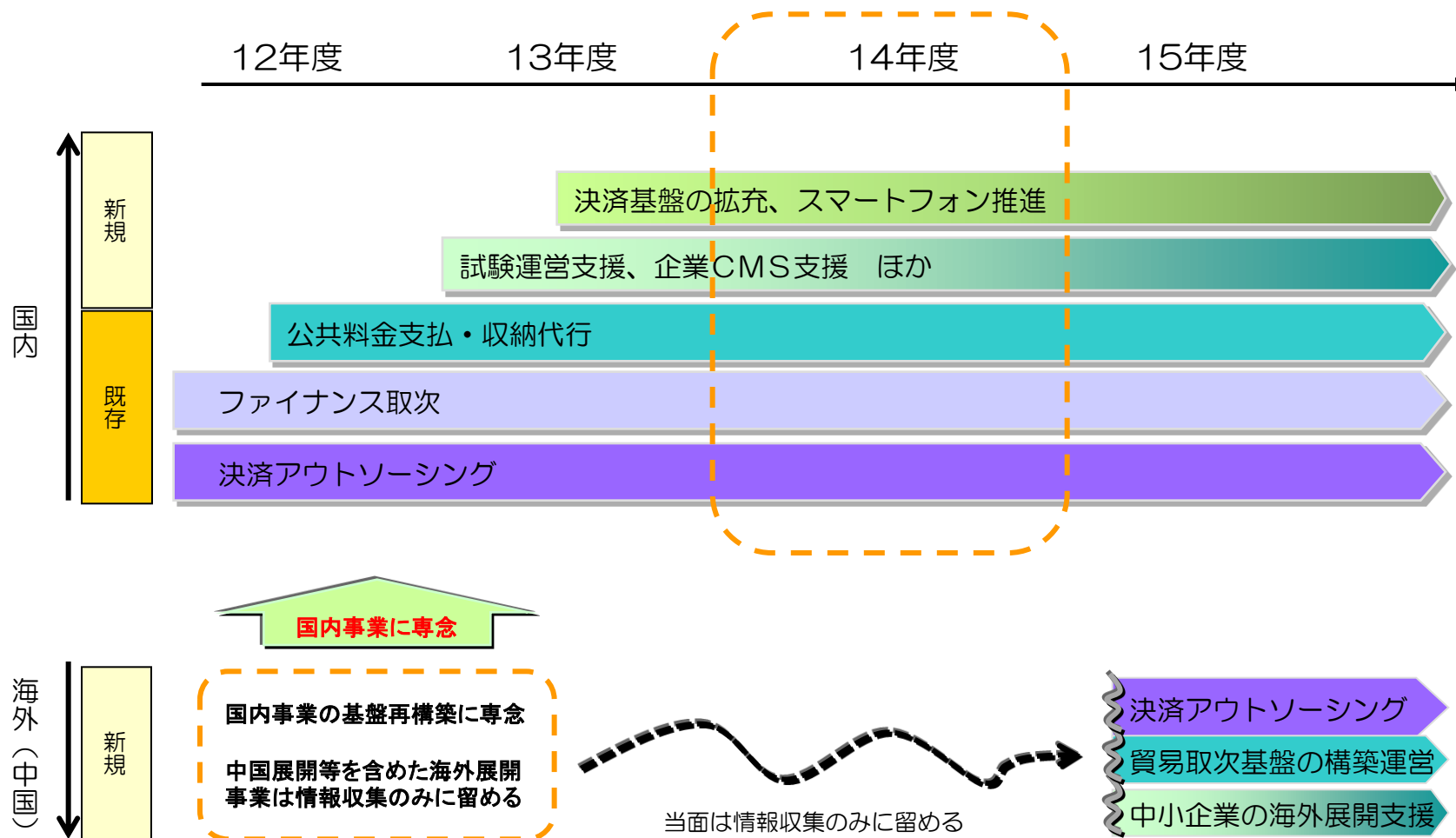
- 業態毎にモデルとなる取引対象企業を優先稼働

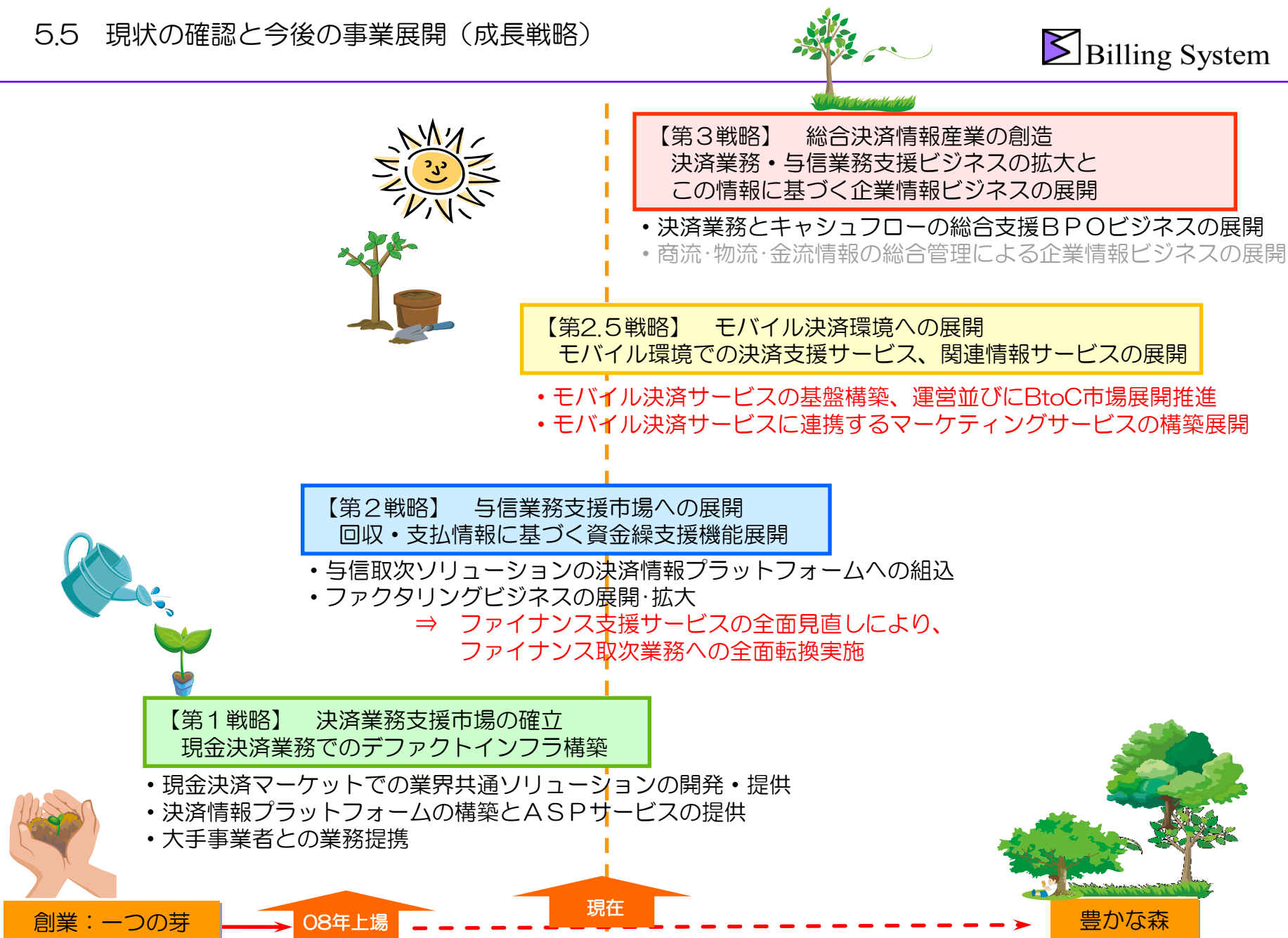
④ スマートフォンチャネルを利用したマーケティングサービスの確立と展開

- 個人向けの宣伝広告、及び集客/送客とマーケティング情報管理機能を構築によるマーケティングサービスの確立と展開

・ 順次実績化を計画している新規ビジネスの状況

事業計画	サービス対象	概要	実施状況
従来からの 継続案件	医療・介護	- 訪問診療における収納事務等での業務フローの検討と決済業務の運営支援 - 中小病院の決済と資金繰り支援 - 窓口会計効率化での複合サービス提供の計画検討中	試行中
	公共料金 収納支払代行	全国各地での水道料の支払いや太陽光発電の売電代金収納、等の支払や収納業務代行 ⇒ ダイワグループでの展開を始めとして順次拡大	対応中
	企業CMS支援	中小企業の給与払い/各種支払業務の効率化支援、及び、請求/収納代行業務と併せた資金繰り支援への対応推進	準備中
	文教案件	学校受験、国家試験等の試験受験に掛かる決済事務とそれに連携する業務効率化支援 ⇒ 収納代行の事務効率化サービス構築	対応中
	決済プラットフォーム	現金決済以外の決済機能の充実によるマルチ決済ハブ機能の研究・構築 ⇒ ポイント決済やポイント交換等のポイント流動化サービス展開で対応	準備中
2014年 以降 推進案件	決済プラットフォーム	- モバイル環境での決済サービスプラットフォーム実現 - ZNAPを利用したポイント決済やポイント交換による決済ハブ機能の拡大 - 決済から連携する情報に基づくマーケティングサービスの展開	準備中
	企業CMS支援	中小企業のCMS導入/運営コンサルティング、並びにCMS運営支援の獲得を推進 ⇒ ATMとモバイル利用による現金集約と集金管理サービスの構築検討中	準備中
	文教案件	学校受験、国家試験等の試験実施に掛かる決済事務とそれに連携する業務効率化支援 ⇒ 収納代行による事務効率化サービス構築 モバイル決済の導入	準備中





ご清聴ありがとうございました。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

I Rお問い合わせ先
ビルングシステム株式会社 電話03-5501-4400
toiawase@e.billingjapan.co.jp